(6) 生徒が英語に触れる機会を充実させるとともに，授業を実際のコミュニケーションの場面とするため，授業は英語で行うことを基本とする。その際，生徒の理解の程度に応じた英語を用いるようにすること。

(7) 言語能力の向上を図る観点から，言語活動などにおいて国語科と連携を図り，指導の効果を高めるとともに，日本語と英語の語彙や表現，論理の展開などの違いや共通点に気付かせ，その背景にある歴史や文化，習慣などに対する理解が深められるよう工夫をすること。

(8) 言語活動で扱う題材は，生徒の興味・関心に合ったものとし，国語科や地理歴史科，理科など，他の教科等で学習した内容と関連付けるなどして，英語を用いて課題解決を図る力を育成する工夫をすること。

(9) 障害のある生徒などについては，学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的，組織的に行うこと。

(10) 指導計画の作成や授業の実施に当たっては，ネイティブ・スピーカーや英語が堪能な地域人材などの協力を得る等，指導体制の充実を図るとともに，指導方法の工夫を行うこと。

2　内容の取扱いに当たっては，次の事項に配慮するものとする。

(1) 単に英語を日本語に，又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう，各科目の内容の(1)に示す言語材料については，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して指導すること。また，生徒の発達の段階に応じて，聞いたり読んだりすることを通して意味を理解できるように指導すべき事項と，話したり書いたりして表現できるように指導すべき事項とがあることに留意すること。

(2) 音声指導の補助として，必要に応じて発音表記を用いて指導することもできることに留意すること。

(3) 文法事項の指導に当たっては，文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ，過度に文法的な正しさのみを強調したり，用語や用法の区別などの指導が中心となったりしないよう配慮し，使用する場面や伝えようとする内容と関連付けて整理するなど，実際のコミュニケーションにおいて活用できるように，効果的な指導を工夫すること。

(4) 現代の標準的な英語によること。ただし，様々な英語が国際的に広くコミュニケーションの手段として使われている実態にも配慮すること。

(5) 話すことや書くことの指導に当たっては，目的や場面，状況などに応じたやり取りや発表，文章などの具体例を示した上で，生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。

(6) 中学校で身に付けた使い方を基礎として，辞書を効果的に活用できるようにすること。

(7) 生徒が発話する機会を増やすとともに，他者と協働する力を育成するため，ペア・ワーク，グループ・ワークなどの学習形態について適宜工夫すること。その際，他者とコミュニケーションを行うことに課題がある生徒については，個々の生徒の特性に応じて指導内容や指導方法を工夫すること。

(8) 生徒が身に付けるべき資質・能力や生徒の実態，教材の内容などに応じて，視聴覚教材やコンピュータ，情報通信ネットワーク，教育機器などを有効活用し，生徒の興味・関心をより高めるとともに，英語による情報の発信に慣れさせるために，キーボードを使って英文を入力するなどの活動を効果的に取り入れることにより，指導の効率化や言語活動の更なる充実を図るようにすること。

(9) 各単元や各時間の指導に当たっては，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などを設定し，言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すことにより，生徒が学習の見通しを立てたり，振り返ったりして，主体的，自律的に学習することができるようにすること。

3　教材については，次の事項に留意するものとする。

(1) 教材は，五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するため，各科目の五つの領域別の目標と２に示す内容との関係について，単元など内容や時間のまとまりごとに各教材の中で明確に示すとともに，実際の言語の使用場面や言語の働きに十分に配慮した題材を取り上げること。その際，各科目の内容の(1)に示す文法事項などを中心とした構成とならないよう十分に留意し，コミュニケーションを行う目的や場面，状況などを設定した上で，言語活動を通して育成すべき資質・能力を明確に示すこと。

(2) 英語を使用している人々を中心とする世界の人々や日本人の日常生活，風俗習慣，物語，地理，歴史，伝統文化，自然科学などに関するものの中から，生徒の発達の段階や興味・関心に即して適切な題材を効果的に取り上げるものとし，次の観点に配慮すること。

(ｱ) 多様な考え方に対する理解を深めさせ，公正な判断力を養い豊かな心情を育てるのに役立つこと。

(ｲ) 我が国の文化や，英語の背景にある文化に対する関心を高め，理解を深めようとする態度を養うのに役立つこと。

(ｳ) 社会がグローバル化する中で，広い視野から国際理解を深め，国際社